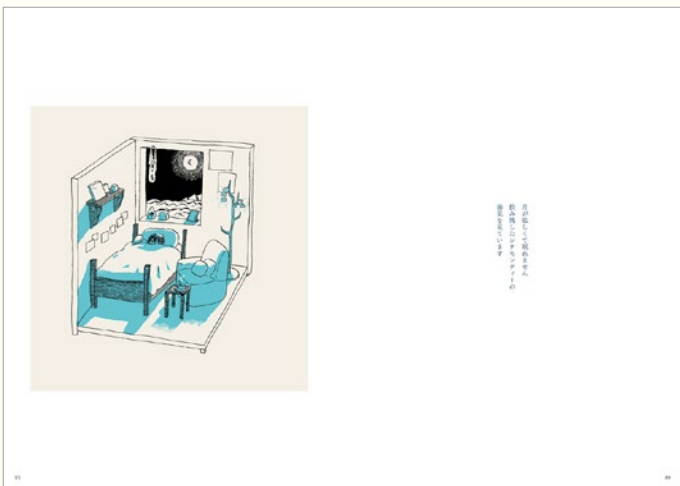


# Author Talk

## 注目の作家インタビュー

MOEが注目する話題の作家にインタビュー。制作にまつわるお話を紹介します。  
取材・文/木村帆乃



### 『坂月さかな作品集 プラネタリウム・ ゴースト・トラベル』

坂月さかな / 作  
パイ インターナショナル 2068円  
ここではないどこかの「ある宇宙」を旅する少年の物語。時代を超えた、4つの風景を漫画やイラストで描いた幻想的で美しい短編集です。イタリア「ポローニャ・ラガッツィ賞 コミックス・ヤングアダルト部門 2023年」最優秀賞受賞作。

左/最初に生まれた「不眠少年 月へ行く」のイラスト。2017年8月22日にSNSに投稿したことから、宇宙を旅する少年の物語がはじまった。  
下/主人公、303が目覚めのとき。この瞬間から、物語の中心である303の旅は続いている。

さかつきさかな / 2021年『坂月さかな作品集 プラネタリウム・ゴースト・トラベル』で商業デビュー。現在はパイコミックスにて『星旅少年』をWEB連載中。好きな絵本は、せなけいこ『おぼけのてんぷら』(ポプラ社)、たむらしげる作品など。

『星旅少年』3巻は、2023年夏発売予定!

『星旅少年』  
坂月さかな / 作  
パイ インターナショナル  
1~2巻 各1100~1210円



イラストレーター・漫画家

坂月さかな

いつか孤独になる日が来ても、きっと大丈夫

### 今描かないと一生描かない

『プラネタリウム・ゴースト・トラベル』が「ポローニャ・ラガッツィ賞 コミックス・ヤングアダルト部門 2023年」最優秀賞を受賞した坂月さかなさん。

「私はいつも自分が一番読みたいものを自分に向けて創作しています。子どもの読者を想定していなかったのが受賞は驚きでしたが、ヤングアダルト(10代後半)は自分の核がつけられた時期でもあるし、彼らに読んでもらえることはとてもうれしいです」

本作は、旅のアルバムのようなイラスト群と、絵本のようなイラストストーリー、そして漫画からなる連作短編集。それぞれ独立したストーリーでありながら、互いに関係しあう「宇宙の旅」を描いています。

「最初に描いたのは、第2部『不眠少年 月へ行く』の一場面です。眠れない男の子がベッドの中において、カップから湯気がたちのぼっている他は静まりかえっているという情景が頭に浮かんで。それまで風景画を描く習慣はなかったのですが、今描かないと一生描かないんじゃないかと思って手を動かしたら、この絵になりました」

物語の中で、主人公の少年はさみしくも楽しい旅を続けています。

「実は私、双子なんです。ずっと一緒に2人で育ってきたので、どちらかが先に死ぬことを想像するのがすごく怖くて、その恐怖を抱えながら生きてきたところがあるんです。でももしそういう日が来たとしても、それは悪いことじゃない。孤独になってもきっと大丈夫だ、という覚悟のような気持ちで創作につながっているのかもしれない。飛行スクーターやキキリリ\*など、ちょっと愉快で楽しい旅アイテムが出てくるのもそのせいなのかも。これらには稲垣足穂や『ドラえもん』の影響がありますね。『旅』に関して言うと、旧約聖書に出てくる「トビト記」が1つのモチーフになっています。聖書や神話のエピソードをSFの言語に翻訳してみたいという欲求があり、自分なりのifの物語が描けたらと思っています」

現在は、シリーズ漫画『星旅少年』を執筆中の坂月さん。  
「本編が『星旅少年』だとすると、『プラネタリウム』は番外編という位置づけです。主人公の303の謎や「トビアスの木」との関係も解き明かされていくので、ぜひ合わせて楽しんでください」

\*移動速度によって色が変わる不思議な飲みもの。見た目はラムネに似ている。